

令和 5 年度 入社式を開催

発行 社会福祉法人 春生会
しょうな あさひが丘
愛知県春日井市庄名町九一八番地一
☎〇五六八二一九九九二二

しょうなだより

表面



このたび、社会福祉法人春生会に、新たに7名の新卒職員が入社いたしました。入社式は理事長、施設長、各部門管理者をはじめ、多くの関係者が参加し、盛大に執り行われました。

式典では、理事長より、『新卒職員の皆さんに大きな期待の言葉と共に、春生会がこれまで育んできた、職員一人一人が尊重され、新人職員や先輩職員、そして上長も含め、お互いが助け合える風土、職場環境であるから、安心して仕事に取り組み活躍してもらいたい』と力強い言葉が送られました。

また、新卒職員の代表からは、『これから始まる新社会人としての意気込みに加え、職務に対する責任感と緊張感を忘れずに持ち続ける』との決意表明がありました。入社にあたって、福祉の一翼を担う事を再認識し、入居者様との信頼関係を築いていくことでしょうか。

式典後は、施設長によるオリエンテーションが行われ、社会福祉法人の職員としての基本的なルールや心構えについて、より詳しい説明が行われました。入社した新卒職員の皆さんは、このオリエンテーションを通じて、福祉施設の運営に必要な知識を習得しました。



翌日から、3週間にわたる研修が実施されます。

専門的な知識や技術を学ぶとともに、入居者様とのコミュニケーション能力を向上させるためのトレーニングが行われます。入社した新卒職員の皆さんは、この研修を通じて、職務に必要なスキルを磨き、所属部署への配属に向けて準備を整えてまいります。

社会福祉法人 春生会では、入居者様が快適に過ごせるよう、職員一人ひとりが力を合わせて支援しています。

今回入社した新卒職員の皆さんには、これからの職務において、失敗を恐れず、様々な経験を積み、事上磨練してもらいたいと思います。



相談員(異動)のお知らせ



この度、相談員業務のため事務所に配属されました。
特技は水泳、マイブームは部屋でお香を焚くことです。寝る前にお香を焚くと、落ち着く香りでも気分転換になります。生まれも育ちも春日井市ですが、市内でもまだまだ知らない場所があるので、これから勉強していきたいと思っています。特に美味しいお店を発見できたら嬉しいです！
2020年4月から2階西南町にて支援員として勤め、たくさんの方の経験をさせていただきました。3年間の学びを糧とし、入居者様・利用者様のより良い生活の一助となれますよう精一杯努めてまいります。よろしくお願いたします。

新人研修の様子



新人職員研修では、老人ホームでの業務に加え、サービス提供に必要な知識や技能の習得を目指します。研修期間は3週間で、基本的な知識から実践的なスキルまで、幅広くカバーされています。

研修を通じて、支援員として働く上で必要なコミュニケーションスキルや、身体介護についての知識、認知症ケアに必要な知識などを学びます。また、トラブルが起きた際や、緊急時の対処方法なども学んでいきます。実際の業務に必要なスキルを習得するため、シミュレーション演習も行われます。

新人職員7名は、支援員業務やサービス提供について深く理解し、職場に適應できるように、今後も配属先で常に学び続け、入居者様に満足いただけるサービスを提供できるように、研修制度の充実に努めてまいります。

12年目を迎えるしょうなあさひが丘を支えてくれるフレッシュな仲間たちを、今後ともよろしくお願申し上げます。



愛知県春日井市庄名町九(八番地)
発行 社会福祉法人 春生会
しょうな あさひが丘
☎〇五六八一二九一九九二二

裏面



先日、コロナウイルスによる、行動制限が緩和され、しょうなあさひが丘の入居者様も外出を楽しむことができるようになりました。
3年ぶりにマスクを外して近所や公園に、桜を見に行くレクリエーションを開催しました。
当日はみなさん一様に、外出を心待ちにしていました。支援員は、入居者様の気持ちに寄り添い、外出の準備お手伝いしました。
コロナウイルスの影響で、外出が制限された期間が続いていたため、入居者様は、久しぶりに感じる、屋外の心地よい風と広い空に感動されていました。広々とした空間に出ることができたことが、入居者の方々にとって大きな活力となつたようです。桜の花が咲き誇る中、季節を感じる事ができ、皆様の顔もとても明るくなっていました。

公園内には、テーブルやベンチもあり、ゆったりとした時間を過ごすことができました。公園には遊具もあるため、同じくお花見に来ていた子どもたちの元気な声が聞こえてきて、入居者の方々もほほえましくご覧になっていました。にぎやかな公園を散策し、笑い声や感動の声があふれ、温かい雰囲気が出ていました。
久しぶりに外出を楽しみ、長く制限された生活から解放されたことで、良い気分転換が図れました。

今後も、入居者様が健康で楽しい生活を送ることができるよう、様々なイベントを企画してまいります。



入居者様とお寿司を食べました。
新鮮な魚介類を使った美味しそうなお寿司が、テーブルに運ばれると、皆さん大変喜んでくださいました。
入居者様の中には、お寿司を食べることが久しぶりだった方もみえ、楽しい時間となりました。



噛むことが難しい方にはネギトロ丼を提供し、一緒に海鮮を食べていただくことができました。
食のイベントを通じて、食べる喜びや、栄養の大切さを知ること、より一層、入居者様にとって大きな楽しみとなるよう、今後も支援員や管理栄養士とともに、企画していきたいです。美味しいご飯は気持ちが満たされますね。

これからもみなさんのリクエストお待ちしております。



4西南ではお二方が白寿(数えの100歳)を迎えられ、支援員一同で特別なお祝いの行事を開催しました。
お祝いの日には、入居者の方々に白いちゃんちゃんこを着用していただき、記念撮影を行いました。
『恥ずかしい』と少し照れるお姿が、一層お祝いの雰囲気を盛り上げていました。



節分にあわせて、鬼退治が行われました。入居者様と一緒に、「鬼は外、福は内」と声をかけながら、大豆に模したボールを支援員お手製の鬼に投げて鬼退治。入居者様は、豆まきに参加することで、季節を感じ、元気を取り戻すことができました。また、支援員たちも一緒に楽しむことで、入居者の方々のコミュニケーションを深めることができました。



編集後記

春は新しい生活が始まる季節ですね。職員や入居者様にとっても、笑顔があふれる明るい季節となることを願い、今回も様々な記事を掲載しました。
これからもしょうなあさひが丘の魅力を伝えるおたよりを発信してまいります。

写真撮影の後は、和菓子好きの職員が厳選した、お祝いのどら焼きをみんなで食べながら、入居者様全員でお祝いの気持ちを共有することができました。
このように、長寿のお祝いを迎えられる方に、支援員一同で心を込めたお祝いを行い、皆さんと一緒に楽しい時間を過ごすことができました。これからも100歳、110歳、日本最高齢とお元気に歳を重ねる一助になればと思います。